

(別紙2-3)

事業所名: グループホーム あたご

作成日: 平成 30 年 1 月 24 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、現在入居時に、ご家族へ向けて重度化した場合の対応について希望を受け付けてはいるが、実際は、体調の変化により、施設主治医に判断を委ねることが多く、終末期の看取りケアまで接する事が少ないのが現状。実際終末期のケアに携わる際の、職員の不安や利用者、ご家族に対する接し方など学習する機会を増やし、より理解を深めることが必要と思われる。	利用者が重度化した場合や職員が看取りケアを始める際に、不安なく取り組むことができるように、ケアの方法、職員間の情報の共有、ご家族への対応など、不安要因を取り除くための学習の取り組みを行う。	・職員への見取りケアに対する不安等についての聞き取り ・外部研修への参加 ・利用者の終末期の体の変化や精神状態などの変化について他業種(医療関係者)から意見、アドバイスを受け実際に施設で可能なケアについての内部研修、検討会などを行う。	24ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。